



令和3年 4月 7日 発行

学校だより 4月 366号

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/>

一人ひとりとみんなのかかわり

～かがやき ひびきあう 六つ西の子～

学校長

令和3年度がスタートしました。

保護者の皆様、お子様の入学、進級まことにおめでとうございます。

2020年(令和2年)は、新型コロナウイルス感染症によって私たちの社会生活は一変し、その不安と混乱は、今もなお継続しています。コロナ禍は、たくさんの変化をもたらしましたが、その変化の一つに、デジタル化の加速もあげられます。コロナ禍以前に策定されていた、子ども一人1台タブレットというGIGAスクール構想も前倒しで本年度から実現することになりました。

一人1台端末でイメージするのは、子ども一人ひとりが個別に端末機器に向き合っている姿です。どの子どもも公平に同じように1台の端末に向き合える環境は、理想的な学びを生み出せるように感じますが、最も心配するのは、端末機器が画一的に知識を獲得するためだけに使われてしまうことです。

六つ川西小学校の学校教育目標を実現するためには、教師のより良い授業を目指すたゆまぬ努力と共に「子どもたちの学びに意欲的

に向かう姿勢」やそれを支える保護者・地域の理解が欠かせません。端末機器がもたらす便利さ、わかりやすさは、学びを楽なものにします。しかし、それは、一方で、子どもの思考力や創造力の妨げともなりうるのです。

すぐには答えがわからないからこそ頭を使って考え、友だちと学び合い、教え合い、時には、家族や地域の方のご支援やお知恵も拝借し、そのような苦勞をして「わかった。できた。」を実現するからこそ、「学び」が定着するのです。

文部科学省が「令和の日本型学校教育」の中で示した「個別最適な学び」は、一人ひとり別々にした「個人学習」では、ありません。

教師と子どもの関わり合いや、子ども同士の間わり合い、地域での学び、体験的な活動、探求的な学び合いなどを通じた学びや、端末機器を有効に活用した協働的な学びの中からこそ生まれてくるものです。

本年度もこれまでと同様、地域、保護者の皆様方のご支援、ご協力をどうぞよろしく願いいたします。



今年度、副校長として着任いたしました。西区稲荷台小学校より転任して参りました。どうぞよろしくお願いいたします。

3月末、初めて学校を訪れた際には、地域の方にもご挨拶をさせていただきました。かけていただくお言葉の端々で、六つ川西小学校に、子どもたちに、たくさんの愛情をそそいでいただいていることを感じました。子どもたちとの学校生活が、とても楽しみになりました。子どもたちの笑顔を支えていただいている、保護者の皆様、地域の皆様と手を携えて、子どもたちがもっともっと笑顔で学校生活を送ることができるよう、努力してまいります。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。